

平成25年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西脇中学校
校長氏名	北垣 有信
作成日	平成 26年 1月 31日

1 教育目標

共に 豊かに 生きる

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<p>◎家庭との連携を密にし、保護者や地域に信頼される学校をめざす。</p> <p>◎地域の共育コミュニティ等と積極的に交流し、地域と共に育つ学校をめざす。</p>	<p>◎道徳教育を推進し、基本的な生活習慣や規範意識、学習規律を育成する。</p> <p>◎体験的活動を通して「誠実で、思いやりがあり、個性豊かな生徒」を育む。</p>	<p>◎キャリア教育を充実させ、個々の進路をしっかりと見極める生徒の育成を図る。</p> <p>◎よくわかる授業（基礎基本の定着）、生徒の興味・関心・意欲が増す授業の工夫・改善により、生徒の学びの自己実現を支援する。</p>

取組の状況【D】	<p>◆家庭との連絡のために、「ぐるりんメール」を活用し、毎週末に次週の予定等を配信</p> <p>◆ホームページをリニューアルし、学校での日々の出来事を発信</p> <p>◆生徒（部活動など）の地域行事等への参加</p> <p>◆共育コミュニティ事業の取組の活用</p>	<p>◆生徒実践目標「あ（挨拶）、そ（掃除）、べ（ベル着）」を徹底して指導</p> <p>◆道徳教育計画の見直し、WYSH教育の継続、ソーシャルスキルトレーニング導入による学級経営</p> <p>◆多彩なゲストティーチャーの招聘、豊かな心情を育む教材の発掘</p>	<p>◆全国学力学習状況調査の分析</p> <p>◆ティームティーチングによる授業を数学科で実施、数学以外でも指導困難な学級で実施</p> <p>◆定期考査時や長期休業時に補習</p> <p>◆外部機関（クロネット）の協力による授業改善</p> <p>◆適応教室の充実</p> <p>◆OJTとしての「校長通信」</p>
取組の成果と課題【C】	<p>■メール（予定）とホームページ（行事）の発信はたいへん好評であり、中学校の様子が随分保護者に伝わるようになった。</p> <p>■部活動等の地域行事への参加は例年どおり好評であった。</p> <p>■共育コミュニティ活動をうまく活用できていない。</p>	<p>■授業開始時の巡回によって、「ベル着」は少しずつ守られてきている。</p> <p>■「挨拶」は校内ではよくできる。「掃除」はやや不徹底である。</p> <p>■道徳、学活等を通して、沢山の豊かな体験を積むことができた。</p>	<p>■学習状況調査の分析結果から、宿題実施率、話し合い活動、発表・表現などの課題が明確になった。</p> <p>■TT授業により、落ち着いた学習環境になってきている。</p> <p>■教師集団の中で、発達障害への理解が深まった。</p> <p>■補習については今後の課題である。</p>
次年度に向けての改善方法【A】	<p>○保護者の学校行事等への参加が増える対策を考える。</p> <p>○共育コミュニティ活動の活用をさらに充実させる。</p> <p>○引き続き、地域貢献の活動を実施していく。</p>	<p>○道徳教育や学級活動について、教職員の研修を進め、充実をはかる。</p> <p>○「あ、そ、べ」の継続。特に掃除については、上靴廃止（2足制）によりいっそう徹底が必要。</p>	<p>○教員研修のいっそうの充実をはかる。特に前述の明確になった課題に沿って授業改善をはかる。</p> <p>○家庭学習の定着が図れるよう取り組む。</p> <p>○補習など、個に応じた手立てを考えて取り組む。</p>

3 その他の課題

*子どもたちが安心して学校生活を送れるように教育（学習）環境を整えていくことが大切だと考えている。そのためにも、落ち着いた学校、学習規律や生活規律が守られ、正しいことが正しいと認識される学校風土を築いていくことが肝要である。同時に「誰にも出番がある学校」をめざして、教育実践を再度見直し、構築していきたいと考えている。